

平成29年(2017年)2月8日
 長野県公共事業再評価委員会
 担当：建設部 建設政策課 技術管理室
 (室長)猿田吉秀、(担当)長谷川哲郎
 電話：026-235-7294(直通)
 026-232-0111(代表) 内線3328
 FAX：026-235-7482
 E-mail: gijukan@pref.nagano.lg.jp

平成28年度 公共事業評価について

平成28年度 公共事業再評価の対応方針について

平成28年度公共事業再評価の対象事業について、県の対応方針を以下のとおりとします。

1 長野県公共事業評価監視委員会の意見

公共事業評価監視委員会（委員長：永藤壽宮氏）に意見を求めた9事業に関して、同委員会から県の再評価案を「妥当」とする意見の具申がありました。

経緯等 平成28年 7月28日
 平成28年 8月30日
 ~12月12日
 平成29年 1月18日

第1回長野県公共事業再評価委員会(再評価案作成)
 公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査2回)
 公共事業評価監視委員会から意見具申

2 県の対応方針

公共事業再評価対象事業に対する県の対応方針は、公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、下記のとおりとします。

平成28年度 公共事業再評価対象事業一覧及び対応方針

分野	再評価理由	事業名	路河川名等	箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画		県の再評価案		評価監視 委員会 意見	県の対応 方針
						総事業費 (百万円)	H28末 事業 進捗率 (%)	県方針	コスト 縮減額 (百万円)		
道路	再々評価	社会資本整備 総合交付金(道路)	一般国道153号	伊那バイパス (伊那市~南箕輪村 ~箕輪町)	H9	21,500	66.4%	継続	-	県案 どおり	継続
	再々評価	防災・安全交付金 (道路)	主要地方道 飯田富山佐久間線	中尾~南宮 (泰阜村~阿南町)	H14	4,770	98.5%	継続	-	県案 どおり	継続
	再評価	社会資本整備 総合交付金(道路)	一般国道152号	小嵐バイパス (飯田市)	H19	2,100	59.3%	継続	-	県案 どおり	継続
	再評価	防災・安全交付金 (道路)	一般国道403号	幸高~井上拡幅 (須坂市)	H19	2,850	86.6%	継続	-	県案 どおり	継続
	再評価	社会資本整備 総合交付金(道路)	一般県道 豊田中野線	笠倉~壁田 (中野市)	H19	3,900	34.3%	継続	-	県案 どおり	継続
	再評価	地方創生道整備 推進交付金(代行)	(町道)川向柳野線	川向 (南木曾町)	H19	3,000	74.4%	継続	-	県案 どおり	継続
街路	再評価	防災・安全交付金 (街路)	都市計画道路 高田若槻線	桐原~吉田 (長野市)	H19	11,310	72.5%	継続	-	県案 どおり	継続
	再評価	防災・安全交付金 (街路)	都市計画道路 出川双葉線	出川~双葉 (松本市)	H19	7,000	25.5%	継続	-	県案 どおり	継続
砂防	その他	通常砂防事業	(砂)栃平沢	栃平 (筑北村)	H7	2,630	71.1%	計画変更	-	県案 どおり	計画変更
合計				9件					0		

平成 29 年(2017 年) 2 月 8 日
 担当： 総務部行政改革課
 (課長) 井出英治
 (担当) 青木能健、上田岳義、加藤憲一
 電話： 026-235-7029 (直通)
 FAX： 026-235-7030
 E-mail： gyokaku@pref.nagano.lg.jp

平成 28 年度 公共事業の新規評価結果について

公共事業の一層の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を高めるため、長野県公共事業評価監視委員会による第三者評価を実施しました。

審議の結果については、次のとおりです。

1 評価対象事業箇所

評価対象は、県が事業主体となって、平成 29 年度に新たに着手しようとする公共事業のうち、総事業費が 10 億円以上の 6 箇所としました。

2 新規評価の審議結果

県が新規評価を実施した 6 箇所の中から 3 箇所を抽出し、詳細審議を行った結果、必要性、重要性、緊急性などをまとめた 県の自己評価は妥当 とのご意見をいただきました。

平成 28 年度 公共事業新規評価実施箇所一覧

事業名	箇所名 (市町村名)	主な事業内容	総事業費 (百万円)	工期
県営農村地域 防災減災 (ため池補強)	塩田 (上田市)	ため池工 N=3 箇所 (堤体補強 L=1,122m)	1,175	H29~H35
広域河川改修	(一)千曲川 月岡~下境 (栄村~飯山市)	築堤工 L=4,600m (Q=7,500m ³ /s) 樋門工 1 基	2,000	H29~H37
道路改築	(国)158 号 狸平 (松本市)	道路築造工 L=1,540m W=6.5(9.0)m	5,000	H29~H37
	(一)市ノ沢山吹(停)線 新万年橋 (豊丘村~高森町)	道路築造工 L=800m W=6.0(10.0)m	3,000	H29~H34
	(一)三才大豆島中御所線 北長池~大豆島 (長野市)	道路築造工 L=2,050m W=14.0(30.0)m	4,300	H29~H38
街路	(都)立ヶ花東山線 吉田 (中野市)	道路築造工 L=560m W=6.0(16.0)m	2,000	H29~H36

(注) 網掛：詳細審議箇所

平成 29 年(2017 年)2 月 8 日
 担当: 総務部 行政改革課
 (課長)井出英治
 (担当)青木能健、上田岳義、加藤憲一
 電話: 026-235-7029(直通)
 FAX: 026-235-7030
 E-mail: gyokaku@pref.nagano.lg.jp

平成 28 年度 公共事業の事後評価結果について

公共事業について、事業完了後一定期間を経過した箇所の事業効果の発現状況や施設の維持管理状況などを検証する事後評価を行いました。長野県公共事業評価監視委員会による第三者評価結果は次のとおりです。

評価結果は、今後の事業の計画・調査・実施の検討などに活用していきます。

1 評価対象事業箇所

評価対象は、県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所から、地すべり対策、治山・砂防、道路の整備、農業基盤整備など事業種類ごとに事業費の大きい箇所など 11箇所を抽出して実施しました。

2 事後評価の審議結果

県が事後評価を実施した11箇所のなかから3箇所を抽出し、詳細審議を行った結果、事業効果の発現状況や環境の変化などをまとめた「県の自己評価は妥当」とのご意見をいただきました。

平成 28 年度 公共事業事後評価実施箇所一覧

事業名	箇所名 (市町村名)	主な事業内容	総事業費 (百万円)	工 期
地すべり対策	(地)善福寺 善福寺(長野市)	現場吹付法枠 A=1,762 m ² アンカー工 ΣL=1,504m ほか	324	H18~H22
県営ため池等整備	富士塚(伊那市)	ため池改修 1 箇所 (取付施設、余水吐 ほか)	151	H19~H22
水源地域等保安林整備	砥沢(下諏訪町)	谷止工 12 個、床固工 10 個、 山腹工 0.78ha、 森林整備 85.58ha	542	H14~H22
水源地域等保安林整備	広川原(佐久市)	谷止工 8 個 森林整備 110ha	183	H19~H22
山地治山	潮沢(安曇野市)	谷止工 11 個、山腹工 1.65ha、森林整備 12.4ha	374	H18~H22
県営林道開設	矢筈(飯田市)	林道開設 L=2,251m W=4.0m	1,016	H3~H22
総合流域防災	(一)篠井川 草間 (中野市)	護岸工 L=580m	383	H17~H22
道路改築	(国)152号高遠バイパス (伊那市)	道路築造工 L=7,620m W=6.5(16.0)m	11,142	S54~H22
街路	(都)旧国道線 神社前 (千曲市)	拡幅改良工 L=241m W=6.0(18.0)m	1,176	H20~H25
県営かんがい排水	安曇野(松本市、安曇野市)	用水路工 L=24,511m	7,525	H7~H22
県営中山間総合整備	木曾中部(木曾町)	農業用排水路工 L=220m 農道工 L=3,215m ほ場整備 38.7ha ほか	2,109	H12~H22

(注) 網掛: 詳細審議箇所

3 公共事業評価監視員会からの主な意見

(1) 水源地域等保安林整備 砥沢(下諏訪町)

- 林地の荒廃に対し森林の持つ環境保全機能の回復に努めている。地元中学校への森林教育・防災教育の場となっており、総合学習の場として活用されている。

↓ 施工前の荒廃状況



↓ 施工後の状況



↓ 地元中学校の学習会の様子



(2) 県営林道開設 矢筈(飯田市)

- 本林道を利用した森林整備が進められており、事業効果を達成している。また、事業着手時からの情勢変化に伴い、全体計画の見直しを行っている。以後の計画立案等にあたっては地形・地質等をより精査しルート決定するように努めること。

↓ 林道の開設状況



↓ 林道を利用した森林整備が進められている



(3) 県営中山間総合整備 木曾中部(木曾町)

- ほ場整備などの農業生産基盤を整備することで、営農作業の効率化が図られ農業の生産性が向上している。また、活性化施設などの整備により、農産物の加工から販売までの地域雇用の場が創出されている。なお、加工グループの活動は、全国的にも注目され地域農業の活性化に寄与しており、今後の事業PRなどに積極的に活用していただきたい。

↓ 整備されたほ場



↓ 活性化グループの取組は大臣表彰を受賞している



↓ 製品化された加工品

